



おしゃべりかわらばん

弥生人の想いを込めて

ボランティアで木柵の復元作業などを行っているとき、当時の人はどんな想いで暮らしていたのかと考え、弥生人の想いを歌詞に込めました。子どもたちがこの音頭で地域を盛り上げてくれるとうれしいですね。



弥生っこ村まつり音頭を作詞した船尾教直さん(八橋)



9月30日、木柵完成の儀式で初お披露目となった弥生っこ村まつり音頭

子さん 59歳・飯島) 先日、結婚式があり県外へ。驚いたことにスギツチをたくさんのかたが知っていて、マスコットを着けていたかたもいました。いよいよ、わか杉国体なんだなあって思いました(加藤洋美さん 30歳・港北)

係からひとこと 新屋地区の古称である「百三段(ももさだ)」。ももさだ海岸、アトリエももさだなど、広報にもよく出てきます。ももさだカエルなんていうのもありますね。名前の由来には、アイヌ語で「川下の土地を意味する『モムサンドイ』から、『アイヌ語でハマナスの花を『モオ』といい、ハマナスが群生する砂丘という意味』、日本語で植物を意味する『も』が段丘に繁茂していたから、『坂上田村麻呂の伝説から』などさまざまな説が...



新屋のももさだ海岸に建つ「ももさだカエル」

広報クイズ

9月16日号の当選者

前回のクイズの答えは、問1が「新波舟着場」問2が「見守り」でした。全問正解137通(応募総数141通)の中から、次の20人のかたに図書カード(10人)とスギツチグッズ(10人)をお送りします。=敬称略=

図書カード お池さん(仁井田)、幸野谷郁子(泉)、鈴木貞子(仁井田)、鈴木優花(土崎)、たかはしたかお(保戸野)、成田信子(新屋)、へばらぎ(川尻)、坂塚昭雄(将軍野)、武藤洋子(仁井田)、りんりん(東通) スギツチグッズ エルム(楢山)、荻原一彦(山王)、川辺ノリ子(新屋)、木曾則子(旭川)、斉藤京子(土崎)、佐々木由美子(御野場)、佐藤怜子(新屋)、高橋輝子(蛇野)、トム(牛島)、ゆかちゃん(牛島)

10月の広報クイズは17ページです。よろしく!! 広報クイズの当選者は、毎回、市政記者室の記者のかたに厳正に抽選してもらっています(広報課)

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。17ページに掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

読者の伝言板

連日の好天、秋日和にて稲刈りもはかどっています。豊作にて皆さんお喜びのことと思っております(斎藤吉郎さん 79歳・将軍野) 心配された台風も今のところなく、稲刈りの時に入りました。作業は事故なく、笑顔で終わりたいものですね。そしてたくさんお米を食べてください(佐藤兼三郎さん 80歳・外旭川) 稲わら焼きのにおいがすると、農業をやっていた祖父母を思い出します。「稲わら焼きは公害」だと分かっていても、なつかしさがこみ上げてきます。祖父が亡くなって田んぼは人手に渡りました(新米さん 49歳・広面) 学校の防災訓練に市長さんが来て、テレビに映っていました。私が映らなかったのが残念です(鈴木真緒さん 8歳・土崎) このたび、秋田に巨人軍が来て大盛況のようであった。五十年前、手形球場に見に行ったが、対戦相手は思い出せない。前日、青田昇、千葉茂、大友工の三選手のサイン会があり、三人からサインをもらったことを良く覚えている。そのサインを現在も大事に持っている(小笹浩さん 68歳・川元) 運動会が無事終了しました。その日は途中から雨が降ってきて、ずぶぬれになってしまいましたが一日でした。来年は中学生なので体育祭をがんばりたいです。そして一位を取りたいです。がんばるゾ!(後藤春香さん 12歳・泉) 毎日、新聞はひととおり目を通すようにしています。ポケ防止にとナックロや漢字クイズを始めました(石黒夕工さん 55歳・新屋) 手作りガーデンにレモンハーブが今年も大変良く育ち、ハーブを眺めては喜びいっぱい。今日も葉をつみ取ってはい。料理づくり。毎日の生活が楽しく、「よろしくネ、がんばりましょう」とハーブさんに声をかけています(土谷かる

地域の話 魂おしえて!!

書家・大井錦亭さんが土崎小学校に書を寄贈 魂受け継ぎ、何でも頑張れ港っ子!

9月26日、書家の大井錦亭さんが、母校の土崎小学校に「港魂」の書を寄贈してくれました。大井さんは昭和2年生まれ。土崎小1年の時に先生から習った書道を好きになり、書の道に進みました。日展に22回連続入選するなど多くの賞を受賞し、現在、日本を代表する書家の一人です。「港魂」の書は、後輩たちに「学業でもスポーツでも、何かに活躍

してほしい」という思いを込めて書いたとのこと。「私は書が好きでこの道に進みました。どんなことでも好きで追求すれば、うまくなります。みなさんの才能は未知数。磨けば磨くほど光ります。大いに頑張れ!」と後輩たちにエールを送りました。その言葉に応え、6年生の斎藤美佳さんが「これからは先生の書を見て魂を熱く燃やし、何事にも



寄贈された書「港魂(みなとだま)」

がんばっていきます!」。母校の大先輩から、しっかりと「港魂」を受け継ぎました。



大先輩の話に児童たちも興味津々

100円の熱戦に勝利!

毎年、かけっこでは1位を取っていたので、小学生最後の今回も狙っていました。同じ野球部の友人にスタートダッシュで遅れましたが、ゴール直前に追い越し、逆転で1位! とてもうれしかったです。



全市一斉スポレクの戸島小学校区に参加した金智史くん(戸島小6年)

毎週お湯に通ってます

自分が150万人目なんてびっくり! ユアシスには、毎週末、妻や家族と一緒に来ています。自分の健康を維持するうえで一番適した施設だと思っています。なによりリラックスできるのが一番ですね。



雄和ふるさと温泉ユアシス入浴者150万人目の田口武俊さん(大仙市)

素敵なお話を聞きました

生の邦楽を聞いたことがなかったので、母を誘って来ました。2曲目「悠想」での、尺八の音色とスクリーンに映し出された秋田の自然の相乗効果が印象的でした。来年のコンサートも楽しみです。



赤れんが館で開かれたコンサートを聴きにきた工藤千咲さん(新屋)